

# シグマ研究委員会 昭和59年度 第3回 運営委員会議事録

日 時 昭和59年7月20日(金) 13:30~17:30  
場 所 原研本部第7会議室  
出席者 原田(委員長, 原研), 白方(動燃), 梶山(東北大), 中沢(東大炉), 中嶋(法大), 村田(NAIG), 五十嵐, 菊池, 長谷川, 松浦(原研)  
オブザーバ: 鹿園, 浅見(原研)

## 配布資料

1. 前回運営委員会(59.5.11)議事録(案)
2. 昭和59年度シグマ特別専門委員会議事録(案)
3. 昭和59年度シグマ特別専門委員会名簿
4. シグマ特別専門委員会内規(昭和59年6月14日改正)
5. Santa Fe Conferenceに関する手紙
6. FP核データWGファイル化進行状況
7. 1984年核データ研究会プログラム・実行委員会第3回会合議事録
8. 1984年核データ研究会プログラム(和文)
9. " (英文)
10. 1988年核データ国際会議準備小委員会
11. シグマ特別専門/研究委員会 59年度活動方針
12. 諮問・調整委員会答申
13. 「原子力総合シンポジウム」過去4ケ年テーマ一覧
14. 中国原子能研究所からの手紙

## 議 事

1. 前回運営委員会議事録確認

資料1により確認を行った。

2. シグマ特別専門委員会議事録確認

6月14日に行われたシグマ特別専門委員会（通称，本委員会）の議事録の確認を資料2により行い，2～3の字句の訂正の上承認された。

3. 事務局報告

先日の本委員会での承認にもとずいて改訂された昭和59年度のシグマ特別専門委員の名簿（資料3），シグマ特別専門委員会の内規（資料4）の説明があった。

4. Santa Fe 会議

五十嵐氏から，Santa Fe 会議についての高橋亮人氏（阪大）宛の手紙（資料5）の紹介があった。

5. IAEA Standard Reference Data 会議

五十嵐氏から，この会議に神田氏（九大）が出席して  $^{238}\text{U}$  (n, f) データのレビューを行う予定であるとの報告があった。

6. JENDL-2 FP ファイル作成作業報告

菊池氏から，資料6によりFPファイル・作成の進行状況について説明があり，8月上旬に最後の集中作業を行って完了することであった。

7. 核データ研究会準備

五十嵐氏から，資料7により7月10日のプログラム実行委員会第3回会合の報告ならびに資料8のプログラム案の説明があった。また，ポスターセッションについては関係者の会合で詳細をきめるとのことであった。

原田氏から，オーストラリア，インドからは来られない旨の返事があったこと，中国からは2～3名を送りたいとの手紙があったことが紹介された。中国からの参加の可能性が高くなったので中国からの講演，座長も含めて準備を進めることにした。また，IAEAからのオブザーバ参加についてはセミナーについては自由との返答をすることにした。次回のプログラム委（9月3日）以前に中国から情報が入ったらプログラム委を早めてやることにした。

8. 学会特別会合テーマ

秋の原子力学会の際の特別会合のテーマについて討議を行い、次の案を8月7日のプログラム編成委に提案することにした。

JENDL-3PR1を用いたFNS実験解析 前川氏（原研）

$^{232}\text{Th}$ の崩壊熱の測定及び解析 秋山氏（東大炉）

座長は中沢氏（東大炉）

#### 9. 1988年核データ国際会議準備小委員会報告

五十嵐氏から資料10にもとずき、7月16日の検討小委員会の報告が行われた。これに関して討議が行われ、○どこが主催するかを明確にする必要がある。○原子力学会との共催を確認する必要がある。○スコープにはSpallation関係を入れた方がよい。などの意見が出た。

原田氏から主催が原研で良いのなら本委員会です承をとることにしたとの発言があった。

#### 10. 59年度シグマ委員会活動方針の具体化について

五十嵐氏から資料11を用いて本委員会に提出した59年度の活動方針を具体的に実施する件について説明があり討議を行った。とくにとり挙げられたのは核データの利用の促進、それに伴う核データニュースなどの広報活動及び国際協力、将来計画であった。

核データニュースについてはad-hocの小委員会を設け、浅見氏が中心となって案をまとめることにし、ad-hoc委のメンバーについても浅見氏に一任することにした。

国際協力についてはアジア地域の核データグループとの協力の観点から本年の研究会へ招待することになっているが、アジア地区の国際会議あるいは国際会議の際にアジア地域の人だけが集って討議を行ったらどうかとの意見が出た。

#### 11. 諮問・調整委員会への委託事項

過日、提出された諮問・調整委員会答申（資料12）をもとに、五十嵐氏から本年度に諮問・調整委員会へ検討を委託する事項について提議があった。討議の結果、JENDL-3以後の活動計画、JEF、ENDF/B活動との協力

体制，国内活動の強化が挙げられ，これらを正式に文書にして提案することになった。なお，JEF，ENDF/B活動との協力関係については次回にも討議することにした。

## 12. 学会企画委員会

村田氏から8月7日の原子力学会の企画委で原子力総合シンポジウムの案を出し合って討議する予定であるので意見があったら出して欲しいとの話とともに過去4年間のテーマ（資料13）の説明があった。議論の結果，核データの利用の観点から「核データのデータベース」を提案することにし，それ以外に意見があったら村田氏に直接連絡することにした。

## 13. その他

- (1) 菊池氏からJENDL-2のベンチマークテストについて，最近，炉定数の処理の一部において，誤差があったことが発見され，現在，処理手順の検討を行っているとの報告があった。
- (2) 諮問・調整委員からの答申にもとづき，次回からWGリーダーを運営委にオブザーバとして原則として次のよう出席して貰うことにした。

東海開催：秋山，田村，内藤の各氏

東京開催：飯島，川合，北沢の各氏

次回は9月14日（金）の午後 東海研で行う予定